

おうみネット

【特集】多様化する地域貢献・
文化継承の新しい“カタチ” 前編

インタビュー：
滋賀短期大学
インタビュー：
成安造形大学

▶ご紹介はP2

Contents

【特集】多様化する地域貢献・文化継承の新しい“カタチ” 前編	P2~4
人と地域とつながる事業所さん	P5
VIVA! 日々是好日!	P5
市民活動レポート	P6~7
未来塾17期生の虫の目・鳥の目・魚の目	P7
応援インフォメーション	P8



Ohmi Network Center

淡海ネットワークセンター

公益財団法人 淡海文化振興財団

<https://ohmi-net.com/>



特集

未来に - 向かって - つなげる - つづける

多様化する地域貢献・文化継承の新しい“カタチ” 前編

地域の祭りや催しなどの伝統文化は、そこに暮らす人々の拠り所として、世代を超えて今日まで大切に受け継がれてきた「地域文化の源」です。しかし、少子高齢化に伴う後継者不足、関心の低下によりその継承が危ぶまれる事例が出てきています。

そんな中で、新たな担い手として期待が集まる「若い力」、その「若者たち」がどのように現実を捉え、どこに心動かされているのか。

滋賀短期大学と成安造形大学の大学生にインタビューし、『多様化する地域貢献・文化継承の新しい“カタチ”』を考える特集を組みました。今回11/1号と、次回3/1号にて連載で地元大学生の“生の声”をお届けします！

Interview

インタビュー：滋賀短期大学 デジタルライフビジネス学科

学科長 小山内幸治特別教授、小笠原寛夫講師
久保田大智さん(2年)、奥野結葉さん(2年)、加藤愛晶さん(1年)

滋賀短期大学 × 「大津絵踊り」保存協会 3Dデジタル化プロジェクト

大津市無形民俗文化財「大津絵踊り」は、大津花街で江戸後期発生したもので、三味線と謡いに合わせて面や小道具を使って踊るのが特徴です。

【先生にインタビュー】

●きっかけは？

「大津絵踊り」は保存会があるものの、90歳代の会長を頭にメンバーは5名。後継者が十分に育っておらず踊りの保存が課題となっています。この保存に関して大学の特色を活かして貢献できないかと検討し、踊りをモーションキャプチャーを用いて3D空間に再現し、恒久的に保存するプロジェクトを立ち上げました。

※モーションキャプチャー：人や物の動きをデジタル化する技術

●どのようなメンバーで取り組んでおられますか？

現在はプロジェクトメンバーを募り、ゼミの卒業制作として取り組んでいます。2年生の学生を中心に周りの教員などスポーターが協力しながら進めています。

希少な文化を継承したい 【学生さんにインタビュー】

●プロジェクトに参加されたのはどのような思いから？

「大津絵踊りの消滅」と聞いて、自分にできることはないかと考えました。

自分の得意なデジタル技術を活かして文化を継承できたらと思い参加しました。

●活動をしておられて感じることは？

伝統文化を3Dなどのデジタル技術で受け継いでいけることに面白さやワクワク感があります！

3Dプログラムは難しい



モーションキャプチャーを利用したシミュレーション

ですが、技術的な問題を解決するために積み上げた努力が報われる瞬間、達成感を感じることができます。

伝統文化を大切に作る心を～新しいカタチで未来へつなぐ～

●これからやってみたいことは？

大津絵踊りの着物の質感や迫力ある動きをデータ化することで、世界中の誰もが滋賀の伝統文化を身近に見られるように伝えていきたいです。

●活動を通じて地域感が何か変わりましたか？

地域ボランティアのイメージが「出向いて地域貢献」から、デジタルを駆使することで「遠隔での地域貢献」へと、意表を突いた“新しいカタチ”に変わりました。

自分たちが創り出したものを地域の人たちとどうやってつなげていくか、その1歩先は何があるのか、いつも考えるようにしています。

そう話してくれた瞳の奥には、真つすぐ未来に向かい走り出している姿が映っているかのようでした。

コシノヒロコ × 滋賀短期大学 コラボ作品展

【先生にインタビュー】

●きっかけは？

滋賀短期大学創立50周年記念講演がご縁で、コシノヒロコさんとのコラボレーションが実現できました。コシノさんの歴代のファッション作品を学生が再構成し、新たなアート作品として「大阪Art&Design2024」に出展しました。



学生がコシノヒロコさんに直接指導を受けながら新しい作品に再構成。

枠を超えた視点を活かす

【学生さんにインタビュー】

●今回の出展経験を今後地域にどのように活かしたいですか？

ファッションを捉え直した出展経験を活かし、“通常の枠を超えた視点”から色々な“カタチ”で地域特有の文化や地域の人との関わりを増やしていきたいです。

自分のやってきたことを地域に向けて“再編成”して“新たに展開”したい。無名のもの、小さいものを次世代へ残していきたいです。

Interview

インタビュー：滋賀短期大学

ビジネスコミュニケーション学科

学科長 小山内幸治特別教授、江見和明教授、仲村恭子講師
中西巧真さん(1年)、辻惇塚さん(1年)、K.Sさん(1年)

滋賀短期大学 × 膳所商店街 × 企業 コラボイベント

【先生にインタビュー】

●きっかけは？

高齢化と後継者不足で悩んでおられる膳所商店街。現在建設中のマンションの完成を機に若い世代の家族にマンションに入居して頂き『街全体で子育てを応援する』ことで膳所商店街を元気にする企画に21名の学生たちが参画しました。「謎解きシールラリー」や「コンピュータ占い」、「スーパーボールすくい」などの企画に主体的に取り組んでいました。



当日、50名もの地域の方々に参加くださいました。

商店街…地域に文化を残したい

【学生さんにインタビュー】

●どんな思いで参加されたのですか？

高校時代から地域課題を学んでいたもので、地域のために何かやりたい!役に立ちたい!と思いました。

●イベントに参加して自身の中で変わったことはありますか？

地域の方に「ありがとう」と言ってもらえた時、とてもうれしかったです。このイベントで新しいものが見えました。地域づくり活動を次世代の子どもたちに見せることで未来も変わると感じました。

【膳所商店街振興組合 理事長池田利広さんにインタビュー】

●今後どのような地域づくりをしていきたいですか？

「当時130あった店舗数が今では30店舗程度に。ただ商品を売るだけでなく、子どもや高齢者も見守ってほしい。今後は、城下町の文化に若い発想を採り入れながら、伝統文化を継承しつつ新しい地域文化の創造をしていきたいです!」と意気込みを見せておられました。

Interview

インタビュー：成安造形大学

田中真一郎教授、加藤賢治教授、
山田理紗さん(2年)、田中楓さん(2年)、
WONG YALONG(オウ アリュウ)さん(3年)



成安造形大学×大津商工会議所× NPO大津祭曳山連盟“ちま吉”プロジェクト

400年の歴史を誇る「大津祭」、その公式キャラクター“ちま吉”は、今から18年前、成安造形大学の学生さんの提案から誕生しました！

このプロジェクトでは、“ちま吉”の誕生以降、様々な活動で大津祭を盛り上げています。

大津祭を広く知ってもらい、来てもらい、好きになって もらいたい！

【先生にインタビュー】

●プロジェクトにかける思いは？

未来ある子どもたちの心に大津の伝統文化をしっかりと焼き付けてほしい、そして成長しても子どもたちの故郷として大津祭に誇りをもってほしいという思いがあります。学生が提案した“ちま吉”をきっかけに、祭りのハイライト曳山巡行の舞台をめぐる“まちなカラリー”など断続的な新しい仕掛けで、子どもをはじめ子育て層といった大津祭を支える次世代に親しみを持ってもらいたいと思っています。



大津祭の曳山巡行は多くのボランティアで支えられています。



曳山の精霊が“ちま吉”の姿を借りて現れた新キャラの「ちま山」の精。

「“本気”が生み出す伝統文化」を現代に活かす醍醐味 【学生さんにインタビュー】

●プロジェクトに参加されたのはどのようなきっかけから？

“ちま吉”の可愛さと「地域の方々の思いに応えたい！」
「グッズの制作や販売、催し物の企画に携わり、実際の社会経験として学びたい」という思いからです。

●活動する中で苦労されたことは？

今年、新たに創った「ちま山」を曳山の文化に見合うものとして完成させるまで、からくり道具ひとつにも、細かいところや色調を調べあげるのに大変苦労しました。

●最も力を入れたことは？

“本気”で厳しく指導してくださる先生や関係する地域の方々々と調整し、「伝統を守る厳格な目」からの思いをいかに表現して落とし込めるかに悩みながら、擦り合わせをしていったところです。

「大津祭」を大学と地元地域が一体となり“本気”で掘り下げ、練り上げ、熟成させていく過程が、このプロジェクトの醍醐味なんですね。

新たなスキルが他者満足に変わるとき

【学生さんにインタビュー】

●活動を通じて価値観や考え方など何か変わりましたか？

“自己満足”から“他の人に見てもらおう多視点”で創るように意識が変わりました。

自分のスキルが社会の誰かの役に立っていると実感できたのが大きな変化です。グッズ制作は顧客ニーズが大切、気に入ってもらわないと広がらないということも勉強になりました。

「“ちま吉”は大津祭の一部、大津祭と一緒に盛り上げている」との先生の言葉には、学生さんたちが時間をかけて真面目に改新し続けて来た地域文化への思いと、これからも地域の方々と一緒に、伝統文化に彩を添え“新たなカタチ”で次世代を育成していく力強さを感じられました。

成安造形大学×たねや 産学連携プロジェクト

別のプロジェクトでは、和菓子の「株式会社たねや」と「近江八景」をテーマにしてお菓子の共同開発プロジェクトに参加されました。目的はお菓子を通じて近江の美しい景色や文化に触れるきっかけを作り新たなお菓子づくりにつなげること。実際、近江八景を見て回ったという学生さんたち。どんなお菓子ができあがるのか、とっても楽しみです。

前編は大学での「学びの特色を活かした地域貢献・文化継承」を若者ならではの視点で捉え、伝統とうまく融合し共存しあった「新たなカタチ」としての文化浸透」をお届けしました。

後編は次号に続きます。



「株式会社JINEN」

「参加する」から「賛同者を増やす」に

今回ご紹介させていただきますのは、2012年に南草津で美容院を開業され2021年に石けん由来のボディケア商品を開発販売されている株式会社JINEN社長の井本敏洋さんです。

井本さんは、大阪で美容師をされていた頃、美容院で使う薬剤等からアレルギーに悩まされ、美容師を一旦断念し、地元大津に戻られました。

そこで自分が美容師として働ける環境を作らなければと、自分のためにオーガニック由来のボディケア商品を使用し、刺激の少ない薬剤を扱ってケアもしていました。自分と同じようにアレルギーや肌トラブルを抱えるお客様が多く、少しずつファンが増えていきました。

お客様だけではなく、同じ悩みを持つ美容師も多く、続けたいけど体質的に続けることが難しいというスタッフもおられたり、結果として、美容院が「オーガニックサロン」と言われるようになりました。滋賀県で商売をするなら、「三方良し」という近江商人の考え方にに基づき、お客様と地域（びわ湖）と自分たちが健康でないと成り立たない。

改めて、美容院開業の頃からの思い、「地域との連携、びわ湖の環境保全活動をしたい」という気持ちを醸成させて、自社開発のブランド天然素材（特に滋賀産）にこだわった「美

しいびわ湖石けん全身シャンプー」「美しいびわ湖ヘアリンズ」を開発されました。商品のボトルに採用されている美しいびわ湖の朝焼け夕焼けがとても印象的です。

2022年には、淡海ネットワークセンターの「おうみ良くなる!元気商品プロジェクト」に賛同していただき、思いはつながっています。

自社のびわ湖せっけんプロジェクトを通じて、地元企業さんとも連携しておられ、さらに「美しいびわ湖」ブランドの、新商品の構想もたくさん持っています、と笑顔でお話いただきました。



天然素材にこだわった商品
「美しいびわ湖」

そして最後に、未来の地域（びわ湖）の環境保全と地域の連携を、美容を切り口にして、発信していく。「参加する」から「賛同者を増やす」この思いで活動していきたいです。とお話くださいました。

- 創業/2021年2月3日 ●代表者/井本敏洋
- 所在地/滋賀県草津市野路1丁目8-5
- HP/eiburubiyoushitsu-jiji.com
- 「おうみ良くなる!元気商品プロジェクト」登録商品



Vol.2

紫式部の歌と近江路

深まる秋に、紫式部の歌と共に近江路を辿って

湖西の方でも、紫式部やその当時の人たちと縁のあるところとは探してみました。三井寺や日吉大社は有名どころですが、唐崎神社にも参詣する人が多かったようです。光源氏のモデルになったといわれる源融が閑居した融神社は、どうしてこんな所にあるのか?と思うような所に建てられています。

越前国司として赴任する父親に同行した紫式部は、琵琶湖を航路で塩津浜にむかう途中の風景を詠んだ多くの歌が残されているそうです。三尾崎(高島市)で詠まれた歌は白鬚神社の境内に歌碑が建立されています。白鬚神社は古くこぢんまりとした静かな神社で、湖中鳥居は美しい佇まいを見せてくれます。琵琶湖もこのあたりまで来ると、都から遠く離れて紫式部も少し寂しさを感じてたのかと思われます。当時に思いを馳せ、歌の地を巡ってみるのもいいですね。

(寄稿:しなやかシニアの会 K・Sさん)

『VIVA!日々是好日!』として滋賀、近江の文学などにまつわるコラムを連載します。

大津市で活動されている“しなやかシニアの会”さんのメンバーがリレーコラムで繋がります。



Profile しなやかシニアの会

幾つになっても学び、夢を持ち、元気で輝き続けられるように積極的に、楽しく、充実したシニアライフを送ることを目指し幅広く活動中。町家を拠点とし、会員で運営するカフェ「リュエルしなやか」も併せて運営。活動のなかで最近では、近江に伝わる平家物語の研究や、やまと言葉の歴史など文学に関する学びも深めている。

●<http://shinayakasenior.life.cocacn.jp/>

地域貢献

竹林を通じて、 深まる地域との繋がり



今回取材させていただいたのは、大津市神領の「近江の竹となかまたち」です。

代表の柏木俊寛さんにお話を伺いました。

竹との出会いは、2019年に偶然、テレビで放置竹林から国産メンマを作る活動を見たことに始まります。同時期に自治会長さんから地元の放置竹林で困っておられる情報を得て、道路沿いの危険な竹を100本程伐採し感謝されたことが励みになり、会社員の傍ら休日は竹に没頭の日々となりました。そして同年「近江の竹となかまたち」を結成。地域の保育園に、竹製の遊具設置や竹と触れあう授業に取り組み、園児たちの笑顔が励みになっているそうです。

それが竹林を整備することにつながり、地域を土砂災害から守り、美しい景観を維持する活動になっています。

地元のまちづくりの会にも参加され、夕照の道で「春待ち灯り竹灯籠～瀬田の入り口を灯す～」イベントを開催。竹の提供と竹灯籠の製作に関わっておられます。竹灯籠は最初の年は100個、3年目になる今年は300個になり、地域の子どもたちが絵付けで参加し、大人たちも協力して、恒例の行事となっています。道に並ぶ竹灯籠は、美しく優しい灯りで足元を照らし安全に歩けると好評です。このイベントを通じて地域の連携や、思い出の蓄積が街を豊かにしていきます。そしてイベント終了後、竹灯籠は廃棄することなく粉碎等して竹炭や竹チップとして再生されています。

竹林管理を通じて、地域と交流を深め貢献したい気持ちで2023年に「柏木竹林農園」を設立。甲賀の竹尺の会社からもオフアがあり、材料として、放置竹林の竹を加工納品もされています。

これからも竹工芸の伝統を守りつつ新たなアイデアを加え、身近にある近江の竹を通じて皆さんの笑顔を増やしていきたいと、話してくださるお顔には、竹の持つ魅力や可能性をもっと伝えたいとの思いに溢れていました。



近江の竹となかまたち

●設立/2019年 ●滋賀県大津市神領2丁目36番地23号
●代表/柏木俊寛 ●Instagram @ouminotake_to_nakamatashi

生涯学習

創立から25年 未来に向かって



滋賀の豊かな歴史文化資源を次世代へつなぎ、地域資源を生かした個性あるまちづくりを推進するための学びの場として開催されていた近江歴史回廊大学。

その1期生の卒業生の皆さんにより、近江歴史回廊倶楽部は創立されました。

1999年創立なのでなんと今年で25年!会員数は90名を超えて40代から90代の方が、キャリアや、また県内外関係なく、歴史が好きで滋賀(近江)が好きなメンバーが集まっています。近江歴史回廊倶楽部の信頼度はとても厚く、現地では地元の研究者の方や寺院の方とも深く交流されています。

また倶楽部の平均年齢は70歳位と年齢は上がってきていますが、新しいシステムやSNSなども積極的に導入するなど、今の時代に対応しながら本道の歴史に関する新しい見解や、発見を日々積み重ねておられます。

何かの機会に友人に誘われて入会してみたという人が、近江の魅力にはまったり、大学を退職された歴史の先生が入会されたり、様々な出会いが楽しく、フラットな立場で喧々諤々と語り合えるという近江歴史回廊のメンバー。

「私たちは歴史の回廊の中を、好奇心に突き動かされて回遊しているんですよ。」と、笑顔でお話しくれました。

これからの未来に向けて、新しい会員が新しい倶楽部として運営してくれることを望みつつ、変化を受け入れながらも日々楽しんでおられる“近江の歴史愛”にあふれた近江歴史回廊倶楽部の皆さんでした。



生涯学習と健康現地見学の会 近江歴史回廊倶楽部

●設立/1999年10月9日 ●理事長/中山敏夫
●HP/https://ohmikairouclub.org/

子育て支援

観て感じて気づいてワクワク！ ヒゲじいの親子の自然体験



50年森は八日市の街中の「おへそ」のような場所にある小さな里山です。私たちはここで、2024年4月から年間を通して毎月第2日曜日に「ヒゲじいの親子でワクワク！自然とあそぼう！」という活動をはじめます。この活動は自然について教えるというスタイルではなく、自然を通して一人ひとりの興味・関心・好奇心を引き出して「観て感じて気づく」ことを大切にしています。ですから、毎回、どんぐりの木の赤ちゃん・ダンゴムシ迷路・ミミズのお口など、季節折々の森の楽しさや不思議さについて「どんな伝え方をすれば子どもたちにワクワクが届くのか」と思いを巡らせます。

今まで一度も自然の中で遊んだことがなく、虫や植物を恐る恐る観ていた4歳児は、自分から森の中で探したものをヒゲじいに見せに行くようになってきました。それだけでなく、小中学生が小さい子をサポートをする姿やみんなのために役立つとする姿も見受けられ、親からも「うちの子の見た事もない一面が見えた」という感想が出ています。

このように、自然への興味・関心・好奇心以外にも子どものさまざまな姿が引き出されているのは、私たちだけでなく、興味関心が同じ子や違う子・年上と年下・保護者・50年森整備チームや中野まちづくり協議会の方・生きづらさを抱える人たち…等、参加者の中で縦横斜めの関わりが生まれ、化学反応を起こしているからだと感じています。私たちも「観て感じて気づく」伴走には1回親子5組が精一杯だと思っていたのですが、参加者を広げることでより多くの関わりと可能性が広がるのかもしれないと思うようになりました。



きっと、森への愛着は体験する楽しさや発見の嬉しさ、不思議さや驚きを多様な関わりの中で共有することで、より深められていくのでしょう。

【寄稿】子どものノリシロ 半澤由子さん

2024年度笑顔あふれるコープしが基金採択団体

子どものノリシロ

●設立/2023年 ●代表/半澤夏実
●Instagram @kodomono_norishiro

Challenger



未来塾17期生の

虫の目・鳥の目・魚の目

ただ今、おうみ未来塾17期生は4つのグループに分かれて活動中です！

それぞれのグループで見つけた課題を、活動を通して解決の糸口を探していきます。今期も滋賀県下のフィールドでユニークな活動を展開しています。

豊かな地域の魅力を秋からも満喫！

おうみ × ツーリズムでは、「埋もれた自然と歴史文化資源を活かしたツーリズム」をテーマに活動しています。「おうみ」の豊かな地域資源



を活かすために、各地域から幅広い年齢層の仲間が集まりました。滋賀県内の地域活性化のために、地域に寄り添ったサステイナブルなツーリズムの実践を行っています。地元の方の協力もいただきながら、これまで春に2回のツアーを開催しました。地域愛を育む豊かな体験・交流を準備しています。今後も開催を予定していますので、是非ご参加ください。

※11/16(土) 草津・野菜収穫サイクリング

11/17(日) 長浜 八丈岩ツアー

11/24(日) 秋の長浜庭園ツアーを開催予定です！

おうみ × ツーリズム

HPはこちら▶

【メンバー】山本一男、若林佳子、花崎昌子、深田拓哉、井上昂大



びわ湖愛は、秋になっても終わらない！熱く活動しています！



『翔んでびわ湖』グループはびわ湖愛が強い6名で活動しています。滋賀県特有のうみのこ・やまのこなどの環境学習やびわ湖に関連した様々な団体、活動を大人（特に県外出身の人たち）に

知ってもらい『びわ湖について、知り、参加し、楽しむ機会を作ろう！』それが、私たち翔んでびわ湖の活動方針です。7/6に視察という形でフローティングスクールに同行させてもらい、あらためてその活動の魅力を実感しました。

11月にイベントも企画中です！詳細はFacebookで告知します。お楽しみに！

Facebookはこちら▶



翔んでびわ湖

【メンバー】川村幸夫、園田孝浩、鶴田真理子、加賀山温子、野矢美幸、末吉隆博

募集 2025年度 未来ファンドおうみ助成事業の募集

未来ファンドおうみ助成事業の募集が始まります。募集にかかる説明会を開催いたします。多くの方のご参加・ご応募をお待ちしています。

【助成事業】

- ①びわこ市民活動応援基金助成
- ②びわ湖の日基金助成
- ③積水化成製品基金助成
- ④笑顔あふれるコープしが基金助成
- ⑤ナカザワNEOフレンドシップ基金助成
- ⑥げんさん食育NPO基金助成
- ⑦湖国文学活動応援むらさき基金助成
- ⑧びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金助成

【応募受付期間】

2024年11月8日(金)～2025年1月10日(金)17時必着

【募集説明会&申請書の書き方講座】 ※申込要

- 大津 11月16日(土) 13:30～15:00 淡海ネットワークセンター
- 米原 11月20日(水) 13:30～15:00 米原公民館3B研修室
- 甲賀 11月22日(金) 10:30～12:00 まちづくり活動センター会議室(まる一む)
- 大津 11月29日(金) 10:00～11:30 淡海ネットワークセンター

※募集案内・申請書のダウンロード、説明会の申込みは

下記URL(またはQR)をご覧ください。

<https://ohmi-net.com/jyousei/bosyu/>

申込QR→



【申込み・問合せ】淡海ネットワークセンター(社)TEL.077-524-8440

セミナー案内 市民活動応援プロジェクト課題を“ジブンゴト”に!“feel→do!(フィールド)”を体験してみよう!

【日時】2024年11月28日(木) 14:00～17:00

【会場】ピアザ淡海204号室

【レクチャー】まちのジブンゴトfeel→do!(フィールド)プロジェクトマネージャー・則武麻里さん

【プレゼンター】NPO法人Since/たなぼた家(おうみ未来塾17期)

【参加費】無料・どなたでもご参加いただけます。

【申込方法】右のQRからお申込みください。

申込QR→



お知らせ 市民活動フォーラム2024「世代を超えたまちづくりに必要なこと」

【日時】2024年12月8日(日) 13:00～16:30

【場所】滋賀県立県民交流センター(ピアザ淡海3F)大会議室

【第1部】基調講演:株式会社いろあわせ 北川 雄士さん
「世代を超えたまちづくりに必要なこと」

【第2部】NPO、市民活動団体、企業等(社会貢献活動に意欲的)の活動紹介、ステージ発表、参加者同士の交流

【参加申込】右のQR、お電話またはメールにてお申込みください。

※参加費無料(市民活動に関心のある一般の方もご参加いただけます)

TEL:077-524-8440

Mail: office@ohmi-net.com 担当:北川

基調講演 申込QR→



決算講座 決算書作成実務や決算の意義を学びます

日常の会計業務から決算までの実務や決算の目的・意義の理解を深め、法人経営実務に役立てることを目的に開催します。

【日時】2025年1月22日(水) 13:30～16:00

【場所】滋賀県立県民交流センター 204会議室

【資料代】500円

【講師】江波 千佳氏(江波千佳税理士事務所)

お礼 未来ファンドおうみへ ご寄付ありがとうございます。

貴重なご寄付を賜りました皆様方により感謝申し上げます。この支援金は、滋賀の市民社会を良くしようとがんばっておられる市民活動団体へ助成し、皆様のお気持ちを伝えながら、おたがいさまがつながり、活きる地域を創るために活用させていただきます。

- 伊藤佑ホールディングス様 「びわこ市民活動応援基金」
- 一般社団法人 比良里山クラブ様 「びわ湖の日基金」
- 近江通商株式会社様 「びわ湖の日基金」
- 株式会社いのうえ様 「びわ湖の日基金」
- 株式会社材光工務店様 「びわこ市民活動応援基金」
- 株式会社JINEN様 「びわ湖の日基金」
- 株式会社鮮魚たかぎ様 「びわ湖の日基金」
- 株式会社タナカヤ様 「びわ湖の日基金」
- 株式会社たまゆら様 「びわこ市民活動応援基金」
- 株式会社ナカザワ様 「ナカザワNEOフレンドシップ基金」
- 株式会社ハヤシ様 「びわこ市民活動応援基金」
- 株式会社ロハス長浜様 「びわ湖の日基金」
- 元三フード株式会社様 「げんさん食育NPO基金」
- 甲西陸運株式会社様 「びわ湖の日基金」
- 滋賀県環境整備事業協同組合様 「びわ湖の日基金」
- 生活協同組合コープしが様 「笑顔あふれるコープしが基金」
- 積水化成製品工業株式会社様 「積水化成製品基金」
- 富田酒造有限会社様 「びわ湖の日基金」
- びわこ総合サービス株式会社様 「びわこ市民活動応援基金」
- びわ湖チャリティ 100km歩行大会実行委員会様 「びわ湖の日基金」
- 有限会社ノリアキ工務様 「びわ湖の日基金」
- 鳥居 静夫様 「びわ湖の日基金」
- 匿名 「湖国文学活動応援むらさき基金」
- 匿名 「びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金」 (50音順 2024年10月10日現在)

下記の皆様から賛助会費をご入金いただきました。厚く御礼申し上げます。

【法人・団体会員】

特定非営利活動法人あめんど、桜梅桃李の会、株式会社近畿理研
甲賀高分子株式会社、生活協同組合コープしが
公益財団法人滋賀県産業支援プラザ、滋賀ダイハツ販売株式会社
中山運輸機工株式会社、ハヤミ工業株式会社、琵琶湖汽船株式会社
株式会社メリーデイズ、株式会社奎兵衛造船所、株式会社山正、税理士法人横井会計

【個人会員】

板倉 成子、宇那木 潤、遠藤 恵子、大岡 純浩、大河原佳子、岡部 健治、勝身真理子
金子 瑞穂、川辺 恵子、菅 哲哉、木田 桃子、北村 裕明、木村 健治、草川 佳代
櫻田 満、里西 薫、澤 孝彦、清水 一記、城田 義隆、菅江 克弘、洲崎トモ子
大道 隆和、高山 朋子、瀧澤 正孝、橘 晃照、辻 博子、辻川 作男、中野 雅之
中村 淳子、中村 貞博、橋田 卓也、原田 久明、廣部千英子、福永 忠克、堀 茂樹
前川 誠、村岡 孝浩、村西 耕爾、目片 佳子、森 由利子、森口 行雄、山本 泰裕
米倉 崇、匿名58名

2024年10月10日現在(敬称略、50音順)

日本政策金融公庫国民生活事業はみなさまの身近な政策金融機関です。

- ・NPO法人のみならずもご利用いただけます。
- ・新たに事業を始める方にもご利用いただけます。
- ・経営に役立つ情報をご用意しています。

新たに事業を始められる方へ

新規開業ローン

中小企業・小規模事業者のみならずへ

国の事業ローン

お子さまの教育資金を必要とされる方へ

国の教育ローン

お問い合わせは

JFC 日本政策金融公庫 国民生活事業

大津支店 国民生活事業 TEL077-524-1656
彦根支店 国民生活事業 TEL0749-24-0201

お気軽にご相談ください。

日本公庫

検索

淡海ネットワークセンターは、県内の市民活動、NPOをサポート・ネットワークしています。

発行日/2024年11月1日 発行所/公益財団法人 淡海文化振興財団
〒520-0801 大津市におの浜1-1-20 ピアザ淡海2階
TEL:077-524-8440 FAX:077-524-8442
https://www.ohmi-net.com E-mail:office@ohmi-net.com
開館日:市民活動ふらっとルーム/火～土曜日/火～金曜日の祝日は休館
事務所/火～日曜日



この印刷物は大豆油インキを包含した植物油インキを使用しています。